

安倍内閣 殿

許さないぞ」高齢者いじめの“ウソ八百”

社会保障「充実」？・・・実は改悪メニューのオンパレード

安倍内閣が進める負担増・給付減（表1）

○70～74歳の患者負担 1割→2割	4000億円
○入院給食の原則自己負担化	5000億円
○介護保険利用者負担 1割→2割（一定所得者）	750億円
○介護保険施設の食費・居住費補助縮小	700億円
○年金の「特例水準解消」	1兆円
○年金の「マクロ経済スライド」	1兆5000億円
計	3兆5450億円

安倍政権の新たな社会保障切り捨てメニュー（表2）

年金	・支給開始年齢を67～68歳などへ引き上げる
医療	・75歳以上865万人の保険料軽減措置を切り捨てる
	・75歳以上の患者負担を引き上げる
介護	・介護報酬を6%（6000億円）削減する
	・要支援1～2に続き要介護1まで保険給付から排除する
	・一定所得以上の人の利用料を2割からさらに3割に引き上げる

後期高齢者医療

「特例軽減」廃止で保険料大幅引き上げ

6300円(均等割) (8.5割減額)	⇒ 2倍	1万2660円 (7割減額)
4200円(同) (9割減額)	⇒ 3倍	1万2660円 (7割減額)
健保や共済の扶養家族から移行した人		
4200円(同) (9割減額)	⇒ 5～10倍	2万1000円～ 4万2000円 +所得割

(東京都の場合、年間)

医療制度改悪の中身

- ・ 後期高齢者医療の保険料引き上げ
- ・ 入院給食費の値上げ
- ・ 紹介状なしの大病院受診の負担増
- ・ 高齢者の窓口自己負担引き上げ
- ・ 協会けんぽ保険料引き上げ
- ・ 国保料(税)の負担上限の引き上げ
- ・ 市町村国保の都道府県単位化
(保険料引き上げ、徴収強化など)
- ・ 国保組合への定率国庫補助廃止
など